



光れ！そえひの子

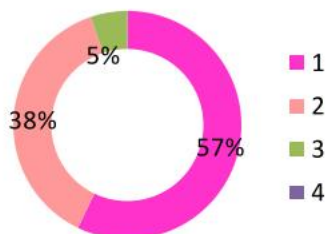
Ⅰ 学期学校自己評価アンケートの結果について

7月に行ったⅠ学期学校自己評価アンケートの結果をお伝えします。結果を踏まえ、今後の児童への支援・指導及び学校運営に活かして参ります。

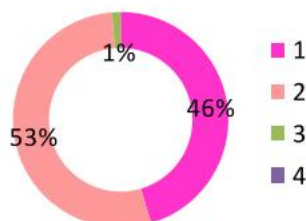
1 学期を振り返って（児童評価）

1 とてもそう思う・そうだ 2 思う・まあまあそうだ 3 あまり思わない・あまりそうではない 4 まったく思わない・そうではない

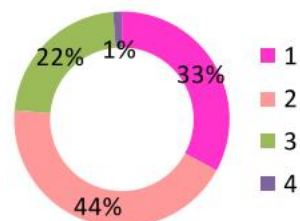
1. 自分から、気持ちの良いあいさつや返事をしていますか。



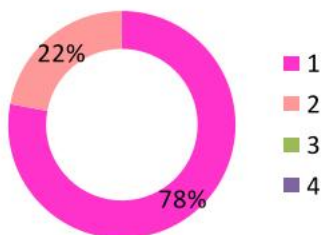
2. 友だちを 思いやり、優しい言葉をかけていますか。



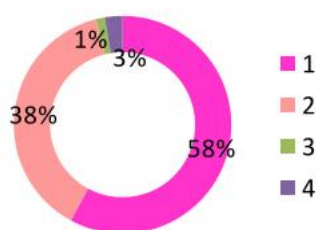
3. 自分で考えたり、思ったことを友だちや先生に伝えていきますか。



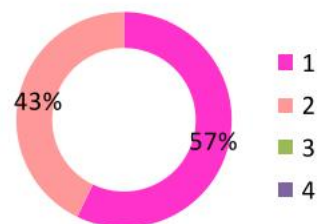
4. 地域での学習や活動は楽しいですか。



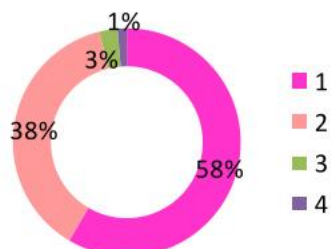
5. 授業は分かりますか。



6. 授業中、先生や友だちの話を最後まで聞いていますか。



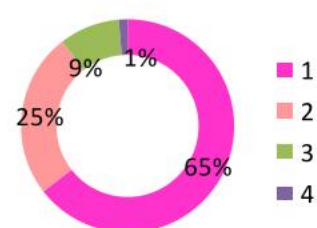
7. 他の学年の友だちと力を合わせて協力したり、仲良くしたりしていますか。



8. 学校の先生たちは、話をよく聞いて、がんばっていることをほめたり、はげましたりしてくれますか。



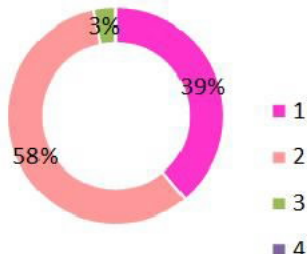
9. 学校は 楽しいですか。



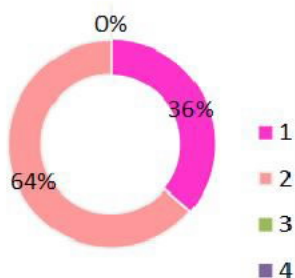
1学期を振り返って（保護者評価）

1 とてもそう思う・そうだ 2 思う・まあまあそうだ 3 あまり思わない・あまりそうではない 4 まったく思わない・そうではない

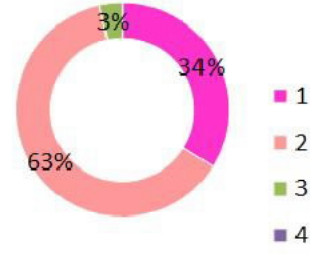
1. 学校は、あいさつや返事、感謝の言葉などを伝え合い、コミュニケーション力を高める指導をしていると思いますか。



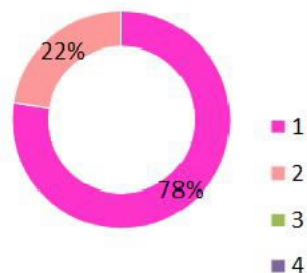
2. 学校は、自他を大切にする気持ちが育つ指導・支援をしていると思いますか。



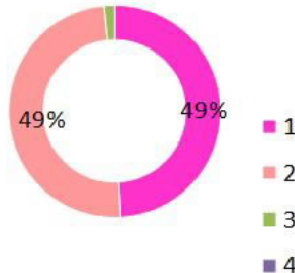
3. 学校は、子どもたちが自分の思いを伝え、表現する力を付けることに努めていると思いますか。



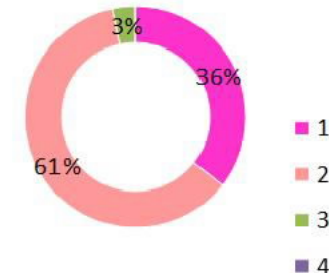
4. 学校は、地域を舞台にした学習や活動に取り組み、地域の方々とのかかわりを大切にしていると思いますか。



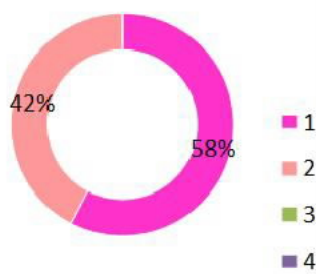
5. お子さんは、授業が分かって話していますか。



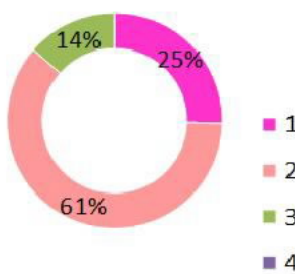
6. 学校は、友だちとの活動や話し合いなどを通して、友だちとのかかわりから学ぶ授業に努めていると思いますか。



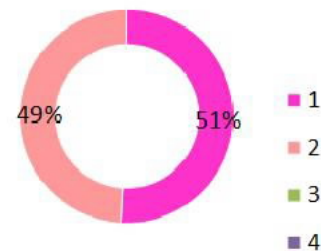
7. 学校は、異年齢との活動を大切に、協力する大切さを感じたり社会性を身につけたりできるように努めていると思いますか。



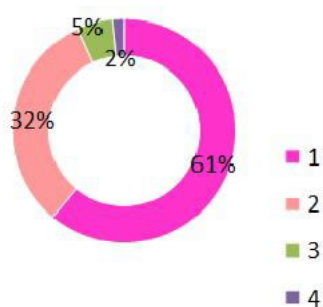
8. 学校は、子どもの様子に目を配り、友だち関係や実態をつかみ、きめ細やかな指導をしていると思いますか。



9. 学校は、学校だよりやホームページ、学年通信などで、子ども達の様子や学校の願いの発信に努めていると思いますか。



10. お子さんは、学校が楽しいと話していますか。



《アンケート結果の考察》

1 児童アンケートより

◇ほとんどの項目で、肯定的評価（「とてもそう思う・そうだ」又は「思う・まあまあそうだ」）が90%以上となりました。

- ・「地域での学習や活動は楽しいですか」の項目は肯定的評価が100%でした。学校の重点目標の具現に向けての「傍陽に遊び学んで思いを語る」につながる内容項目であり、学校では、地域に出かけることや地域の方とのつながりの中で子どもたちが育つことを大切にきてきております。その取り組みが子どもたちの評価にもつながっていることが見られ、大変嬉しい結果です。
- ・「学校は楽しいですか」の肯定的評価が90%でした。子どもたちにとって「楽しい」学校とはどういうものかをさらに考え、引き続き楽しい学校づくりに努めてまいりたいと存じます。
- ・「授業が分かる」が90%を超えました。授業が分かることは、学校生活の基本であるので、嬉しく思います。「学校の先生たちは、話をよく聞いて～」の項目も肯定的評価が90%を超えましたが、「授業が分からない」「もっと話を聞いてほしい」と感じている子どもたちの思いにも寄り添い、授業が分かり学習することが楽しい、話を聞いてくれて安心した、褒めてもらえて嬉しかったと思えるよう、努めて参ります。
- ・「自分から気持ちの良いあいさつを～」 「友だちを思いやり～」 「他の学年の友だちと～」も90%を超えていました。重点目標の具現に向けての「太陽のようなコミュニケーション」に関わるあいさつや返事を意識して取り組んでいる様子や、「支えあう仲間 個と協働の学び」につながる、思いやりや協力を大切にしている様子がうかがえ、嬉しいことです。また、「先生や友だちの話を最後まで聞いていますか」の項目は肯定的評価が100%でした。相手を感じる気持ちが育ってきている表れかと思われます。これらの姿が、今後さらに高まるよう、子どもたちが自分たちの良さに気づき、自信を持てるように励ましていきます。
- ・「自分で考えたり、思ったりしたことを友だちや先生に伝えていますか」の項目は肯定的評価が77%でした。今年度の学校重点目標「『ことば』で自分を伝えよう」に大きく関わる内容です。子ども同士で伝え合う、教師に伝える、保護者・地域に発信する等の機会を作ると同時に、伝え合っていることを認め、自信をつける方策を考えていきます。また、自分の考えや思いを友だちや先生に話したい、伝えたいと思えるような学習を計画し取り組んでまいります。

2 保護者アンケートより

◇保護者の皆さんの評価は、10項目中9項目で肯定的評価（「とてもそう思・そうだ」又は「思う・まあまあそうだ」）が90%以上となりました。

- ・「自他を大切に作る気持ち」「地域を舞台にした学習や活動・地域の方々とのふれあい」「異年齢との活動」「子ども達の様子や学校の願いの発信」についての項目において、100%の肯定的評価をいただきました。これからも自他を大切に作る子ども、地域とともにある学校をめざしてまいります。
- ・「思いを伝え表現する力」「授業が分かる」「友だちとのかかわりから学ぶ授業」「学校が楽しい」についての項目は、いずれも肯定的評価が90%を超えておりました。学校の本分は授業ですので、子どもたちが「できた」「わかった」をより実感できる授業となるよう、さらなる授業改善に取り組めます。また、子どもが楽しいと感じられる学校とはどんな学校かを改めて考え、楽しい学校を目指していきます。

- ・「学校は、子どもの様子に目を配り、友だち関係や実態をつかみ、きめ細やかな指導をしている」は、肯定的評価が86%でした。子どもたちにとって安全・安心な学校となるよう、より一人ひとりの様子に目を配り、子どもたちの思いや考えを丁寧に聴き、保護者の方と連携しながら取り組んでまいります。

3 自由記述より

《児童アンケート》

- ・多くの子どもが、できたことや頑張ったことを教師から認められたときに嬉しかったと書いています。また、相手を思いやった行動や気持ちの良いあいさつなど、行動を認められたときも嬉しかったという声がありました。頑張りや良い行動が具体的に認められることが自信につながっていると考えます。
- ・友だちから「すごいね」と言われたことも嬉しかったという声が多かったです。友だち同士でお互いの良さを認め合うことが、子どもたち同士の良い関係をつくる土壌になると考えますので、どの子も認められた嬉しさを感じられるよう、クラスや異学年の活動の中で、意図的に学習や活動を仕組んでいきたいと思っています。
- ・家庭での嬉しいこととして、テストの点数や何かの結果で褒められたという記述の他に、お手伝いや相手を思いやった行動を褒められて嬉しかったという記述も複数見られました。「人の役に立てた」「自分の行動を喜んでもらえた」と感じる経験が、自己肯定感を高めることにつながると考えます。学校でも結果だけでなく過程を大事に考え、また、一人ひとりが自分の役割を果たす経験ができるよう、環境をつくっていきます。
- ・友だちとの関係で、困っていることがあるという声がいくつかありました。子どもたちの様子に目を配り、それぞれの思いをよく聞き、きめ細やかな指導をしていきたいと思っています。同時に子どもたちがお互いを認め合える関係を築けるよう、支援していきたいと存じます。

《保護者アンケート》

- ・お子さんが嬉しいと感じたり、自信が持てたりすることとして、教師や友だちに自分の行動や頑張りを認めてもらえたときという内容が多く書かれていました。教師が子どもたちの姿を褒め励まし認める手本となり、子ども同士が認め合える関係性を作っていきたいと思っています。今後も、お子さんの頑張りを見逃さないよう、子どもたちの様子に目を配り、支援してまいります。
- ・学校行事を通して、教師や友だちと協力して準備や練習を頑張ったり、当日を楽しく過ごせたりしたことで子どもたちの自信や成長に繋がっているというご意見を複数いただきました。また地域の方と触れ合う機会が多くあることについても肯定的なご意見を多くいただきました。
- ・クラブ活動や縦割りの活動についてご意見をいただきました。これからも地域性や少人数の良さを活かした学習活動を計画し、学校運営に取り組んでまいります。

◇ご多用のなか、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。